

●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) 〔受付時間9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕 ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 方 法	日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



ホームページのご案内

当社HPにおきましても最新のトピックスをはじめ、様々な情報をご案内しております。



<http://www.molitec.co.jp/>



IR情報メール配信サービス

Eメールアドレスをご登録頂いた皆様に最新の当社IR情報をEメールでお知らせいたします。ご希望の方はトップページからご登録ください。

CONTENTS

トップメッセージ	P 1
連結財務ハイライト	P 2
部門別の概況	P 3~4
連結財務諸表	P 5~6
環境への取り組み	P 7
グローバルネットワーク	P 8
会社情報	P 9
株式情報	P 10



本報告書は、環境保全のため、
植物油インクで印刷しています。

MOL!TEC

モリテック スチール株式会社

MOL!TEC

モリテック スチール株式会社

証券コード：5986



株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、当社第73期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

平成26年6月

取締役社長 永見 研二

営業の概況

営業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済政策などにより円高是正・株高基調で推移し、景況感にも改善の動きが見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況下におきまして、当連結会計年度の当期売上高は244億3千3百万円と前連結会計年度比7.9%増加、営業利益は8億3千万円と前連結会計年度比18.9%増加、経常利益は8億5千6百万円と前連結会計年度比8.2%増加、当期純利益は4億2百万円と前連結会計年度比21.4%の増加となりました。

セグメント別の売上高、営業利益につきましては、特殊帯鋼、普通鋼等を販売しております商事部門では、売上高は142億4千5百万円と前連結会計年度比4.4%増加し、セグメント利益（営業利益）は6億5千万円と前連結会計年度比5.4%の増加となりました。

焼入鋼帯、鋳金加工品を製造販売しております焼入鋼帯部門、鋳金加工品部門では、焼入鋼帯部門につきましては売上高は16億4千2百万円と前連結会計年度比0.6%増加し、セグメント利益（営業利益）は2億4千3百万円と前連結会計年度比1.9%の減少となりました。鋳金加工品部門につきましては売上高は75億4千5百万円と前連結会計年度比12.1%増加し、セグメント利益（営業利益）は10億4千9百万円と前連結会計年度比39.6%の増加となりました。

また、海外事業につきましては、売上高は9億9千9百万円と前連結会計年度比56.8%増加しましたが、1億4百万円のセグメント損失（営業損失）となりました。

今後当社グループが対処すべき課題

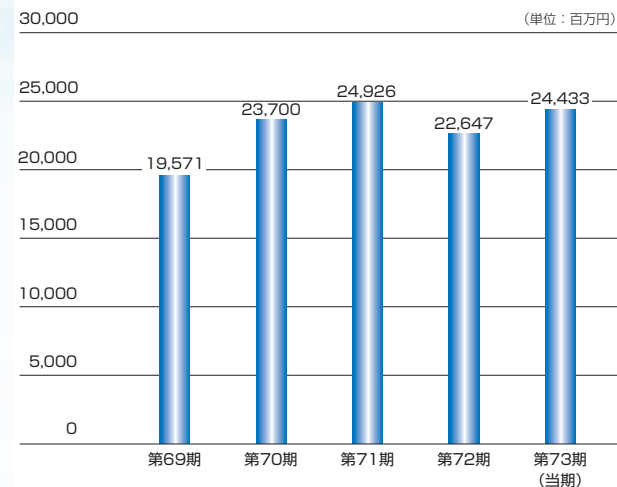
当社グループは、持続的な成長を目指して、特殊帯鋼の専門商社及び焼入鋼帯・鋳金加工品のメーカーとして、特殊帯鋼の市場占有率の向上を図るとともに、特殊帯鋼の特性を熟知した加工技術をもつ強みを活かした製品を自動車のエンジン・ミッション、農業機械、住環境機器などの広範な市場に提供してまいります。

また、価値提案企業として、特殊帯鋼の加工性情報を活用した販売に努め、広幅焼入鋼帯のさらなる市場創造と、自動車エンジン・ミッション分野へのアッセンブリ製品の展開、農業機械分野へのモジュール製品などの高機能な複合製品の展開をさらに強化するとともに、自社ブランド製品の開発に努めてまいります。

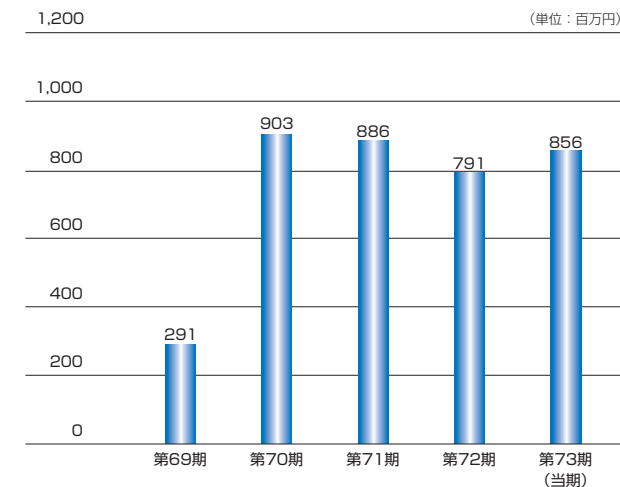
今後の海外市場における需要家ニーズへの迅速な対応と新規需要開拓を積極的に推進するために海外拠点の生産体制、販売体制を強化し、グローバル展開を推進してまいります。

当社グループは、環境保全の取組みを経営上の重点課題の一つと位置づけ、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の活動を全社をあげて推進し、環境への負荷低減に努めるとともに、環境にやさしい製品を生産してまいります。

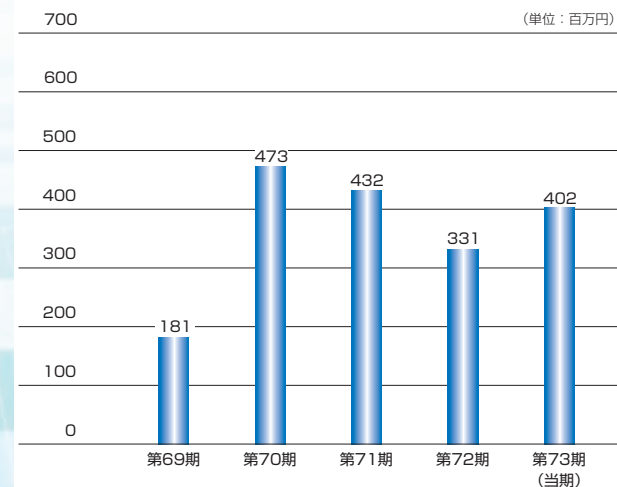
●売上高



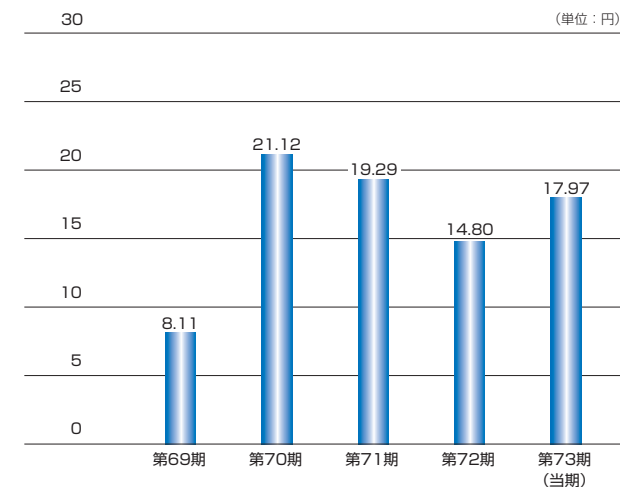
●経常利益



●当期純利益



●1株当たり当期純利益



(注)第72期より連結ベースで記載しております。

部門別の概況

鈹金加工品部門

売上高 7,545百万円

取扱製品

- ・自動車用機能部品
- ・家電用精密部品
- ・農業機械用モジュール部品
- ・ゼンマイ製品
- ・コードリール
- ・金型
- ・各種アッセンブリ製品



自動車部品



CVT部品



家電部品



コードリール



農業機械部品



オーガ

海外事業

売上高 999百万円

焼入鋼帯部門

売上高 1,642百万円

取扱製品

- ・焼入鋼帯
- ・バーナイト鋼帯



焼入鋼帯



刃物（用途例）



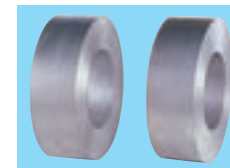
ゼンマイ（用途例）

商事部門

売上高 14,245百万円

取扱商品

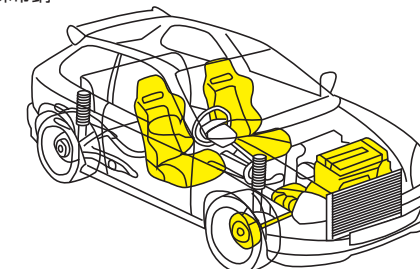
- ・みがき特殊帯鋼
- ・熱間圧延鋼帯
- ・みがき帯鋼
- ・冷間圧延鋼帯
- ・ステンレス鋼帯
- ・ばね用ステンレス鋼帯
- ・表面処理鋼板



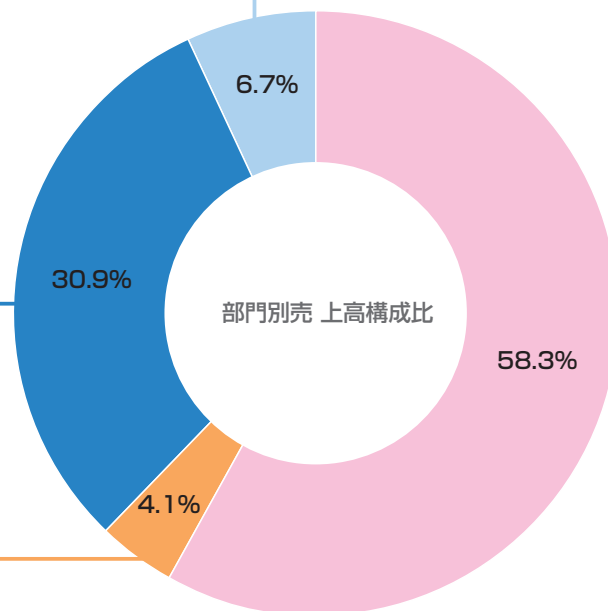
みがき特殊帯鋼



ステンレス鋼帯



当社取扱商品は自動車部品（エンジン、ミッション、ブレーキ、シート等）をはじめ、各種機能部品に使われております。

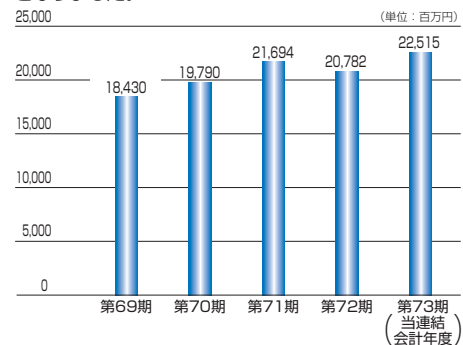


区分	売上高 (百万円)
商事部門	14,245
焼入鋼帯部門	1,642
鈹金加工品部門	7,545
海外事業	999
合計	24,433

連結財務諸表

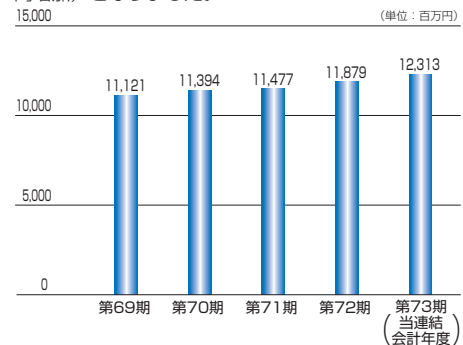
Point① 資産合計

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末より17億3千2百万円増加し、225億1千5百万円となりました。



Point② 純資産合計

純資産の残高は、主に、利益剰余金、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加により123億1千3百万円（前連結会計年度末比4億3千3百万円増加）となりました。



連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成26年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	14,013,715	14,204,410
固定資産	6,769,208	8,311,287
有形固定資産	4,722,716	5,889,454
無形固定資産	39,271	61,999
投資その他の資産	2,007,220	2,359,833
Point① 資産合計	20,782,924	22,515,697
負債の部		
流動負債	6,827,355	8,107,501
固定負債	2,075,828	2,094,968
負債合計	8,903,184	10,202,469
純資産の部		
株主資本	11,456,323	11,657,090
資本金	1,848,846	1,848,846
資本剰余金	1,469,608	1,469,608
利益剰余金	8,177,993	8,378,895
自己株式	△ 40,124	△ 40,260
その他の包括利益累計額	420,362	653,335
その他有価証券評価差額金	374,899	516,223
為替換算調整勘定	38,839	177,147
繰延ヘッジ損益	6,624	—
退職給付に係る調整累計額	—	△ 40,034
少数株主持分	3,053	2,801
Point② 純資産合計	11,879,739	12,313,227
負債純資産合計	20,782,924	22,515,697

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
売上高	22,647,298	24,433,316
売上原価	19,454,865	20,830,760
売上総利益	3,192,433	3,602,556
販売費及び一般管理費	2,494,303	2,772,363
営業利益	698,129	830,192
営業外収益	96,917	101,879
営業外費用	3,786	75,959
経常利益	791,260	856,112
特別利益	4,307	9,743
特別損失	196,249	4,904
税金等調整前当期純利益	599,318	860,951
法人税、住民税及び事業税	286,515	468,238
法人税等調整額	△ 18,937	△ 9,196
少数株主損益調整前当期純利益	331,740	401,909
少数株主利益又は少数株主損失(△)	144	△ 659
当期純利益	331,596	402,568

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
Point③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	197,892	578,762
Point④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,640,031	△ 1,325,471
Point⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー	905,244	△ 357,525
現金及び現金同等物に係る換算差額	56,883	91,553
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 480,010	△ 1,012,679
現金及び現金同等物の期首残高	5,321,157	4,841,146
現金及び現金同等物の期末残高	4,841,146	3,828,466

Point③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益を8億6千万円、非資金項目である減価償却費を5億5千7百万円計上したほか、売上債権の増加8億2千8百万円、たな卸資産の増加2億4千万円、仕入債務の増加6億6千5百万円、法人税等の支払い2億1千5百万円等により、5億7千8百万円の資金増加となりました。

Point④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得12億2千2百万円等により、13億2千5百万円の資金減少となりました。

Point⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い2億1百万円等により、3億5千7百万円の資金減少となりました。

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

ISO14001 (環境マネジメントシステム規格) 認証取得

三重大山田工場	取得日: 2002年5月10日	ジュタワン・モリテック (タイランド) 株式会社	取得日: 2007年1月16日
宇都宮工場	取得日: 2004年6月25日		
本社・営業部門	取得日: 2006年4月28日		

当社グループは、今後の海外市場における需要家ニーズへの迅速な対応と、新規需要開拓を積極的に推進するために海外拠点の生産体制、販売体制を強化し、グローバル展開を推進しております。

自動車生産が今後も増加することが予想される北米・中南米市場における自動車メーカーからの受注拡大を目指し、2013年3月、アジア以外では初の現地法人をメキシコ合衆国のアグアスカリエンテス州に設立し、2014年8月より生産の見込みであります。

1 環境に対する取り組みと考え方

当社グループは環境保全への取り組みを経営上の重点課題の一つと位置づけ、あらゆる面での環境への負荷低減に努めるとともに、環境保全に配慮した製品を提供すること(設計開発、生産工程、原材料、物資の投下及び廃棄、物流等の各過程において省資源、省エネルギー、リサイクル等への配慮)、また法令遵守はもとより、環境教育の強化を図ることによって持続的に発展が可能な社会の構築に貢献してまいります。

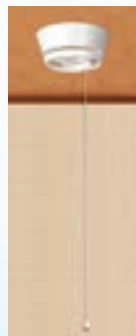
2 環境への配慮

室内物干し「ルームハンガー」



写真 クリーンエネルギーであるゼンマイを利用した当社のブランド製品です。

くるリング 充電スタンド



EV/PHV用ケーブル自動巻取り式充電スタンド
業界初! ケーブル巻取りの構造は「無接点方式」で、安全・安心!!

3 製造部門におけるCO₂排出量の削減

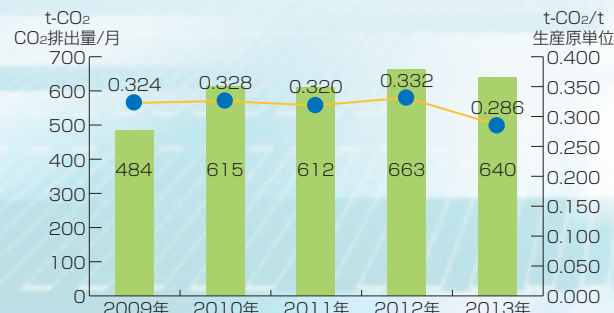
当社はCO₂排出削減に取り組み、目標として生産原単位で2009年対比毎年1%以上削減の自主目標を掲げ、その実現に向けさまざまな取り組みを推進しております。

2013年度は前年に引き続き、古い空調機器を順次省エネ効果の高い空調機器に更新と高効率照明器具への取り替えを進めました。その結果、原単位 (t-CO₂) は前年0.332が0.286となり、2009年度対比では11.7%削減となり目標の4%削減を達成しました。

CO₂排出量は2012年度電力排出係数の微減と購入電力量の減少で、前年対比排出量で3.5%の削減となりました。また生産量が12%増加したことでCO₂原単位 (t-CO₂) での削減につながりました。

引き続き生産効率向上に努め、CO₂排出量削減に向けて取り組んでまいります。

過去5年間の製造部門生産原単位とCO₂排出量推移 (月平均)



・CO₂換算係数=2008年度~2012年度 各年度の排出係数で算出



会社情報 (平成26年3月31日現在)

■ 会社概要

商号 モリテックスチール株式会社
 創業 昭和18年5月
 設立 昭和25年11月
 資本金 18億4,884万6,387円
 従業員 404名

■ 役員

取締役会長	清水 正廣	監査役(常勤)	五島 吉朗
取締役社長	永見 研二	監査役(常勤)	森 剛之
常務取締役	赤尾 正則	※ 監査役	中尾 卓
常務取締役	木村 慎一	※ 監査役	田原 尚登
常務取締役	松下 善紀	※ 監査役	阪口 誠
取締役	谷口 正典	(注) ※印は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。	
取締役	糸川 哲朗		
取締役	門 高司		
取締役	森 泰之		
取締役	速水 宏祐		

■ 事業所所在地

《国内》

- ◎ 本社：大阪
- 営業拠点：大阪、東京、名古屋、広島、北海道、九州（福岡）
- 工場：三重、宇都宮



株式情報 (平成26年3月31日現在)

■ 株式の状況

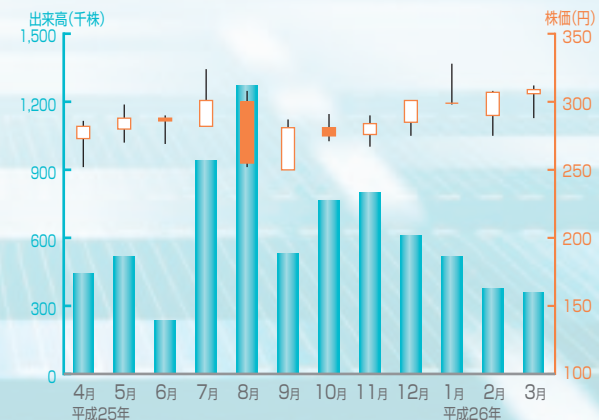
発行可能株式総数 50,000,000株
 発行済株式の総数 22,406,914株
 (自己株式151,149株を除く。)
 単元株式数 100株
 株主数 3,094名

■ 大株主の状況

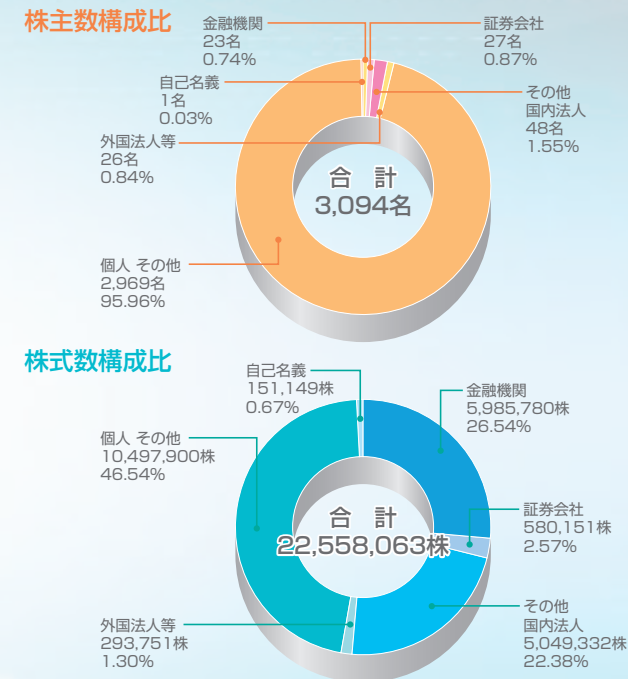
株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日新製鋼株式会社	2,244	10.02
株式会社メタルワン	1,992	8.89
日本生命保険相互会社	1,290	5.76
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,110	4.96
株式会社近畿大阪銀行	960	4.29
株式会社みずほ銀行	780	3.48
大同生命保険株式会社	600	2.68
水元 公仁	500	2.23
森 文子	492	2.20
森 浩之	466	2.08

(注) 持株比率は自己株式(151,149株)を控除して計算しております。

■ 株価推移表



■ 株式の状況



■ 1株当たり年間配当金(円) 配当性向の推移(%)

